

平成28年度

第1回 市政モニターアンケート報告書

新居浜市企画部秘書広報課

## 1 アンケートの概要

調査対象者	平成28年度 市政モニター 182人
調査期間	平成28年7月1日（金）～平成28年7月15日（金）
調査方法	郵送またはインターネット
テーマ	① 新居浜市における都市ブランドの確立について ② 「祖父母世代」と「子育て世代」の子育て観調査 ③ 新居浜市の自治会活動について

回答率

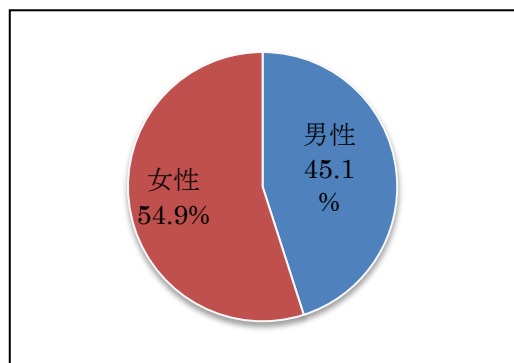
テーマ	モニター数（人）	回答者数（人）	回答率
①	182	165	90.7%
②	182	158	86.8%
③	182	159	87.4%

## 2 市政モニター内訳（※平成28年7月1日時点）

〈性別〉

（単位：人）

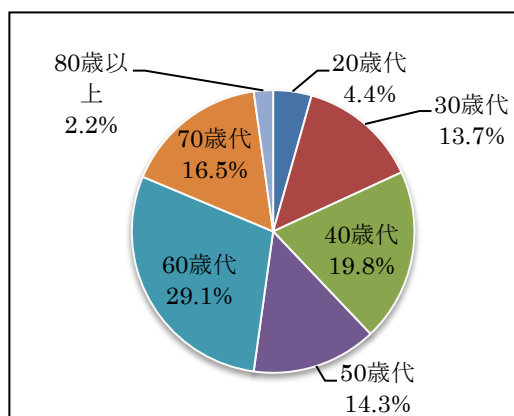
男性	82 (45.1%)
女性	100 (54.9%)
合計	182 (100.0%)



〈年代別〉

（単位：人）

	男性	女性	合計
20歳代	0	8	8 (4.4%)
30歳代	7	18	25 (13.7%)
40歳代	11	25	36 (19.8%)
50歳代	8	18	26 (14.3%)
60歳代	35	18	53 (29.1%)
70歳代	18	12	30 (16.5%)
80歳以上	3	1	4 (2.2%)



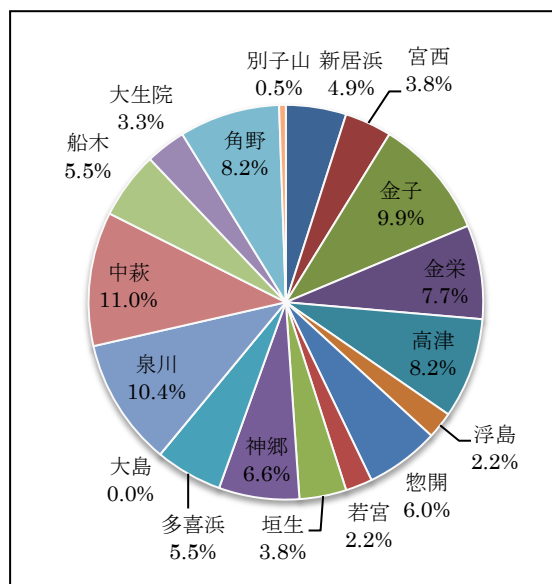
※年齢は平成28年4月1日時点

〈居住地（小学校校区）別〉

（単位：人）

	男性	女性	合計
新居浜	2	7	9 (4.9%)
宮西	2	5	7 (3.8%)
金子	5	13	18 (9.9%)

金栄	6	8	14 (7.7%)
高津	8	7	15 (8.2%)
浮島	3	1	4 (2.2%)
惣開	3	8	11 (6.0%)
若宮	3	1	4 (2.2%)
垣生	2	5	7 (3.8%)
神郷	7	5	12 (6.6%)
多喜浜	4	6	10 (5.5%)
大島	0	0	0 (0.0%)
泉川	14	5	19 (10.4%)
中萩	4	16	20 (11.0%)
船木	5	5	10 (5.5%)
大生院	4	2	6 (3.3%)
角野	9	6	15 (8.2%)
別子山	1	0	1 (0.5%)



#### <回答方法 種別>

(単位：人)

郵送モニター	92 (50.5%)
Eメールモニター	90 (49.5%)
合計	182 (100.0%)

#### <選任方法 種別>

(単位：人)

公民館推薦	98 (53.8%)
公募	84 (46.2%)
合計	182 (100.0%)

※数値は、単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳の合計は一致しない場合があります。

### 3 調査結果

#### テーマ① 新居浜市における都市ブランドの確立について

##### 【調査趣旨】

新居浜市では、本市の魅力を生内外へ向けて発信し、定住人口（現に居住する人）や交流人口（本市を訪れる人）の増加へつなげるとともに、新居浜市民の地域に対する誇りや愛郷心を高めることを目的として、平成28年度に本市の都市ブランド戦略を策定することとしています。

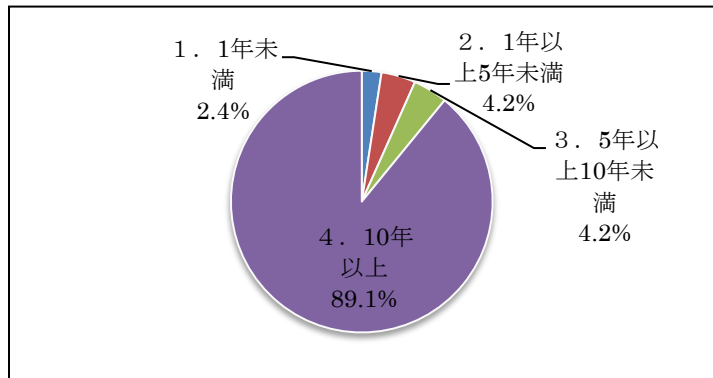
つきましては、いろいろな機会や方法を活用することにより、数多くの市民の皆さんのご認識やご意見等について把握する必要があることから、このたび市政モニターの皆さんのご意見等をお聞きし、都市ブランド戦略策定の基礎資料にしたいと考えていますので、アンケートへのご協力をお願いします。

(担当課：地方創生推進室)

(※問1はモニター属性特定のための設問であり、省略)

問2. 新居浜市への居住期間（通算年数）で、あてはまるのは次のうちどれですか？（1つ選択）

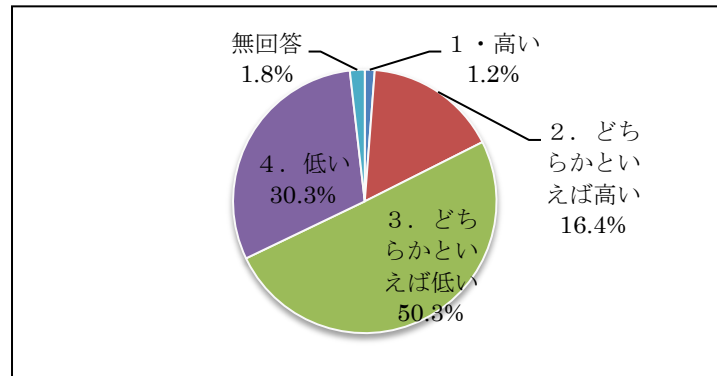
1. 1年未満	4人
2. 1年以上5年未満	7人
3. 5年以上10年未満	7人
4. 10年以上	147人
合計	165人



「4. 10年以上」と答えた方が全体の89.1%を占めています。

問3. 県外の人にとって、新居浜市の知名度・認知度で最も当てはまるものは次のうちどれだと思いますか？（1つ選択）

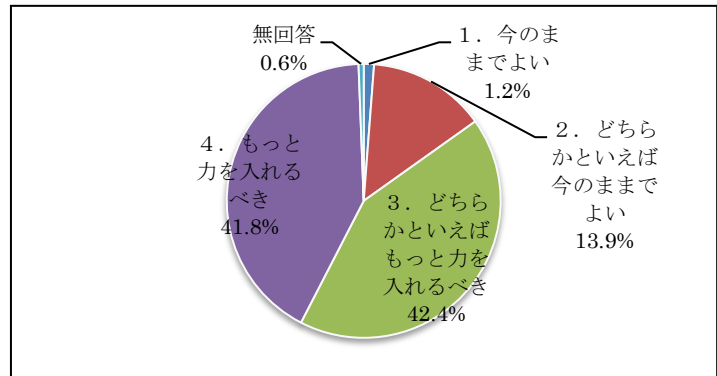
1. 知名度・認知度は高いと思う	2人
2. 知名度・認知度はどちらかといえば高いと思う	27人
3. 知名度・認知度はどちらかといえば低いと思う	83人
4. 知名度・認知度は低いと思う	50人
無回答	3人
合計	165人



「3. どちらかといえば低い」(50.3%)、「4. 低い」(30.3%)と答えた方が全体の約8割を占めており、多くの方が新居浜市の他県での知名度・認知度は低いと考えられていることがわかりました。

問4. 新居浜市としての都市ブランド（発信力のある魅力や強みをアピールすること）について、最も当てはまるものは次のうちどれですか？（1つ選択）

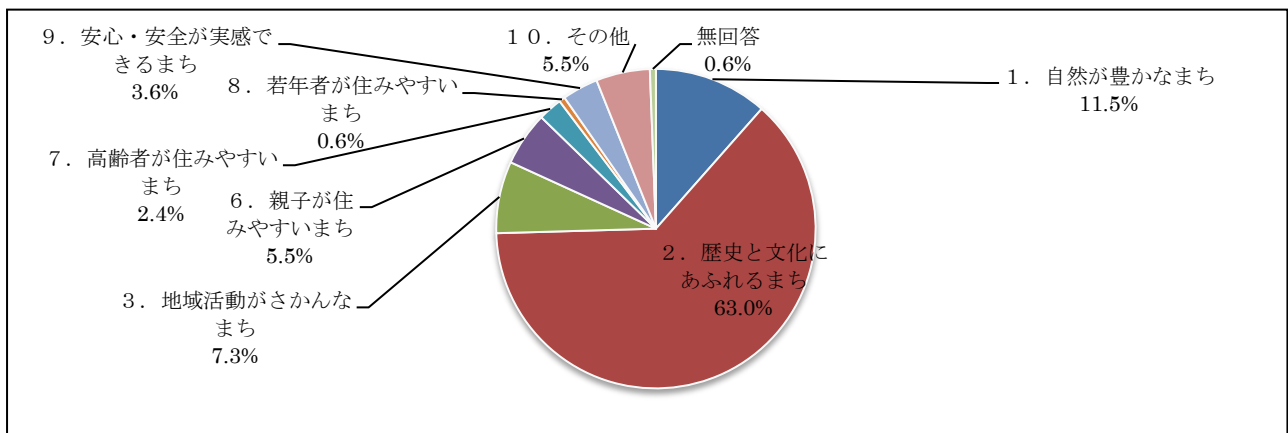
1. 今のままでよい	2人
2. どちらかといえば今のままでよい	23人
3. どちらかといえばもっと力を入れるべきである	70人
4. もっと力を入れるべきである	69人
無回答	1人
合計	165人



「3. どちらかといえばもっと力を入れるべきである」(42.4%)、「4. もっと力を入れるべきである」(41.8%)と答えた方が全体の約8割を占めており、多くの方が新居浜市としての魅力や強みをアピールすることについて、もっと力を入れるべきであると考えられていることがわかりました。

**問5. 新居浜市を一言で表現するとすれば、どんなまちですか？（1つ選択）**

1. 自然が豊かなまち（海・山・川など）	19人
2. 歴史と文化にあふれるまち（別子銅山産業遺産群・住友企業城下町・太鼓祭りなど）	104人
3. 地域活動がさかんなまち（自治会活動・太鼓祭りなど）	12人
4. 市民が生き生きと暮らせるまち（ボランティア・NPO・スポーツ文化活動など）	0人
5. 人にやさしいまち（温かさ・思いやり・助け合いなど）	0人
6. 親子が住みやすいまち（子育て・公園など）	9人
7. 高齢者が住みやすいまち（医療・介護・生涯学習など）	4人
8. 若年者が住みやすいまち（就労・余暇活動など）	1人
9. 安心・安全が実感できるまち（地域連帯・自然災害リスクの低さなど）	6人
10. その他 →※問6へ	9人
無回答	1人
合計	165人



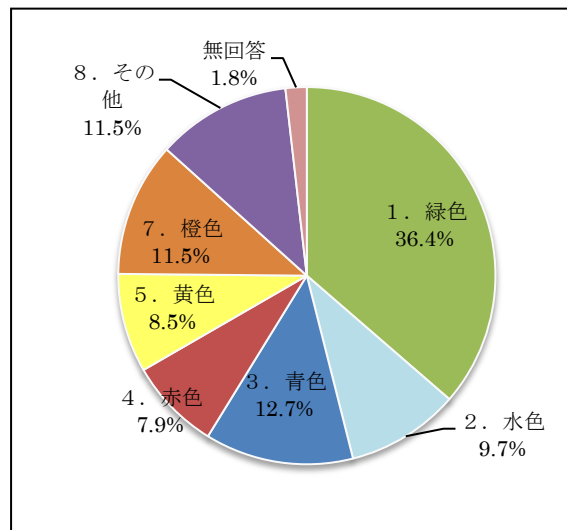
「2. 歴史と文化にあふれるまち」と答えた方が最も多く（63.0%）、全体の約6割を占めています。

**問6. 問5で「その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、新居浜市を一言で表現すると、どんなまちですか？（自由記入）**

- ・企業城下町ではあるが住みにくいまち
- ・活気のない、さびれたまち
- ・住友企業を中心とした工場群と豊かな自然が融合したまち（※文化はそれほど自慢できない）
- ・特徴のない市
- ・思いつかない。
- ・一言で表現できない。インパクトの無いまち
- ・太鼓祭りは素晴らしいが、あとはどれも中途半端に感じる。
- ・昔50年前の方が文化があった。今は新居浜はこれといった文化がない。

問7. 新居浜市のイメージカラーとして、最も当てはまるものは次のうちどれですか？（1つ選択）

1. 緑色（みどりいろ）	60人
2. 水色（みずいろ）	16人
3. 青色（あおいろ）	21人
4. 赤色（あかいろ）	13人
5. 黄色（きいろ）	14人
6. 桃色（ももいろ）	0人
7. 橙色（だいだいいろ）	19人
8. その他 →※問8へ	19人
無回答	3人
合計	165人



「1. 緑色」と答えた方が最も多く（36.4%）、次いで「3. 青色」（12.7%）、「7. 橙色」（11.5%）、「8. その他」（11.5%）の順となっています。

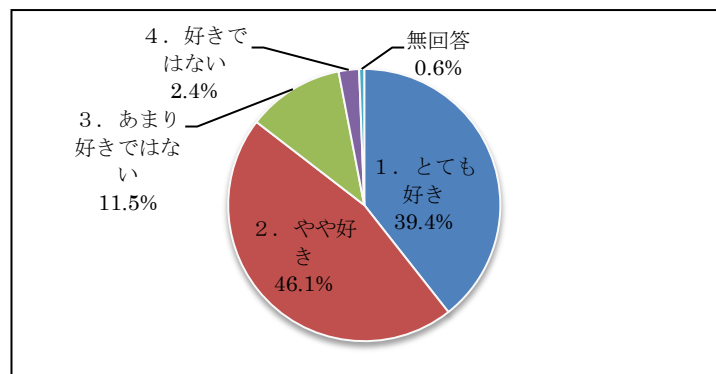
問8. 問7で「その他」と回答された方にお伺いします。あなたの新居浜市のイメージカラーを具体的に教えてください。（自由記入）

- ・あかがね色、銅色、赤褐色 等 （13人）
- ・黒色 （1人）
- ・茶色 （1人）
- ・グレー（1人）
- ・金色 （1人）
- ・銅山の「銅色」と太鼓台の「金色」 （2人）

イメージカラーを「8. その他」と答えた方の多くは、別子銅山のイメージである「銅色（あかがね色）」をイメージされたようです。また、太鼓台をイメージした「金色」という回答もありました。

問9. あなたは、新居浜市をどのくらい好きですか？（1つ選択）

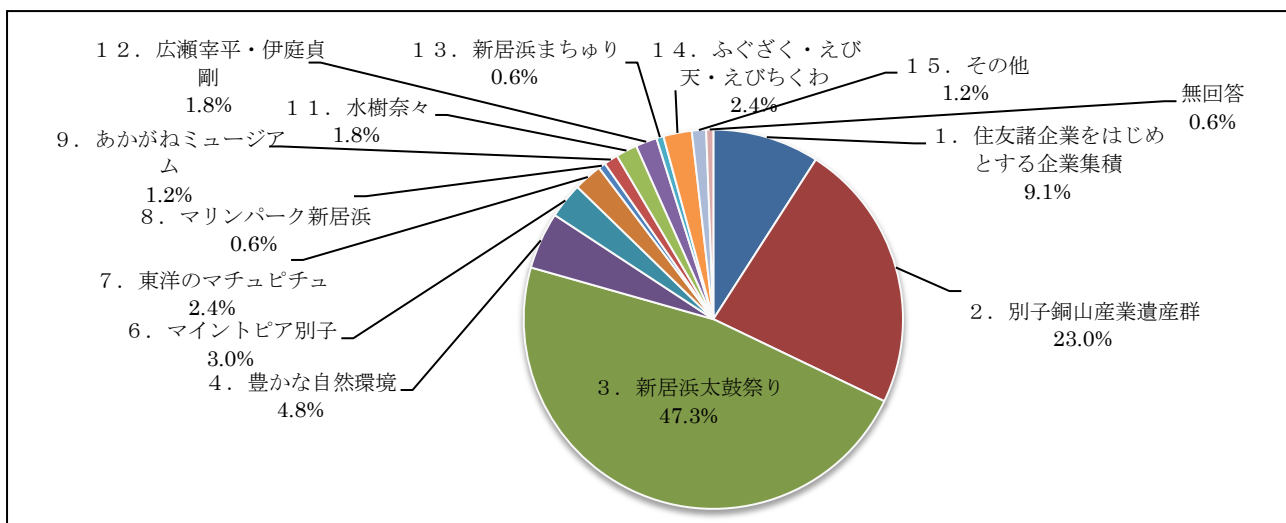
1. とても好き	65人
2. やや好き	76人
3. あまり好きではない	19人
4. 好きではない	4人
無回答	1人
合計	165人



「1. とても好き」(39.4%)、「2. やや好き」(46.1%)と答えた方が全体の8割以上を占めており、ほとんどの方が新居浜市を「好き」と感じていることがわかりました。

問10. 市外・県外の人に対して新居浜市が誇れるもの、または友人や知人に紹介したいものうち、最も当てはまるものは次のうちどれですか？(1つ選択)

1. 住友諸企業をはじめとする企業集積	15人
2. 別子銅山産業遺産群	38人
3. 新居浜太鼓祭り	78人
4. 豊かな自然環境	8人
5. 気軽に憩い、ふれあえる公園・緑地	0人
6. マイントピア別子	5人
7. 東洋のマチュピチュ	4人
8. マリンパーク新居浜	1人
9. あかがねミュージアム	2人
10. イオンモール新居浜	0人
11. 水樹奈々	3人
12. 広瀬幸平・伊庭貞剛	3人
13. 新居浜まちゆり(ゆるキャラ)	1人
14. ふぐざく・えび天・えびちくわ	4人
15. その他 →※問11へ	2人
無回答	1人
合計	165人



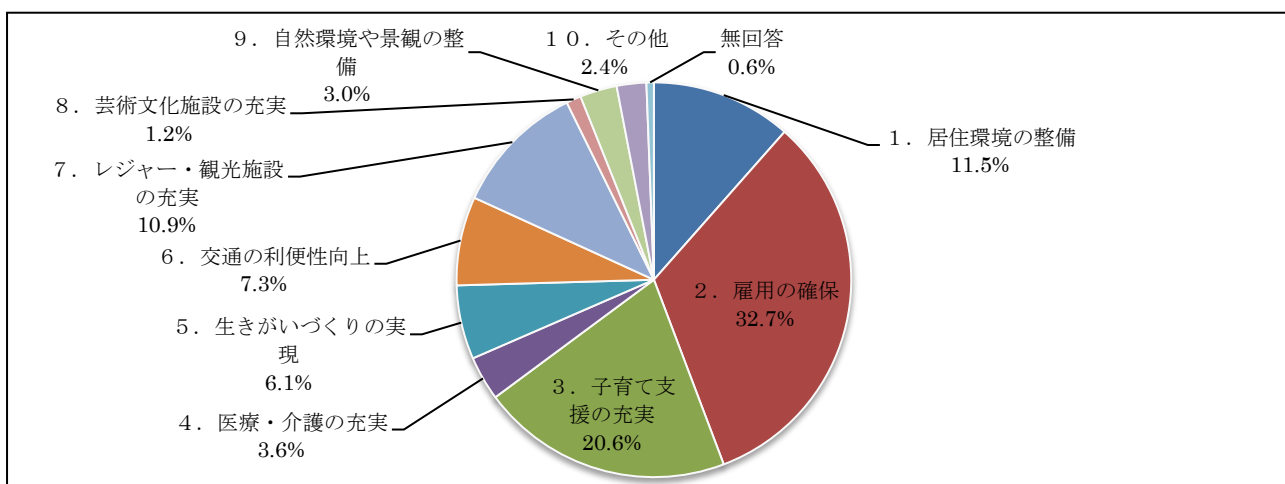
「3. 新居浜太鼓祭り」と答えた方が最も多く(47.3%)、全体の半数近くを占めています。次いで、「2. 別子銅山産業遺産群」(23.0%)、「1. 住友諸企業をはじめとする企業集積」(9.1%)の順となっています。

問11. 問10で「その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、市外・県外の人に対して新居浜市が誇れるもの、または友人や知人に紹介したいものを自由に記入してください。(自由記入)

・ 総合科学博物館くらい・・・。  
 ・ 今はなし

問12. 今後、定住人口（住みたい、住み続けたいと思う人）を増やすために、新居浜市が積極的に力を入れる（アピールする）必要があるものとして、最も当てはまるものは次のうちどれですか？（1つ選択）

1. 居住環境の整備（空き家対策・お試し移住を含む）	19人
2. 雇用（働く場）の確保	54人
3. 子育て支援の充実	34人
4. 医療・介護の充実	6人
5. 生きがいがづくり（市民総活躍社会）の実現	10人
6. 交通の利便性向上	12人
7. レジャー・観光施設の充実	18人
8. 芸術・文化施設の充実	2人
9. 自然環境や景観の整備	5人
10. その他 →※問13へ	4人
無回答	1人
合計	165人



「1. 雇用（働く場）の確保」と答えた方が最も多く（32.7%）、次いで、「3. 子育て支援の充実」（20.6%）、「1. 居住環境の整備」（11.5%）の順となっています。

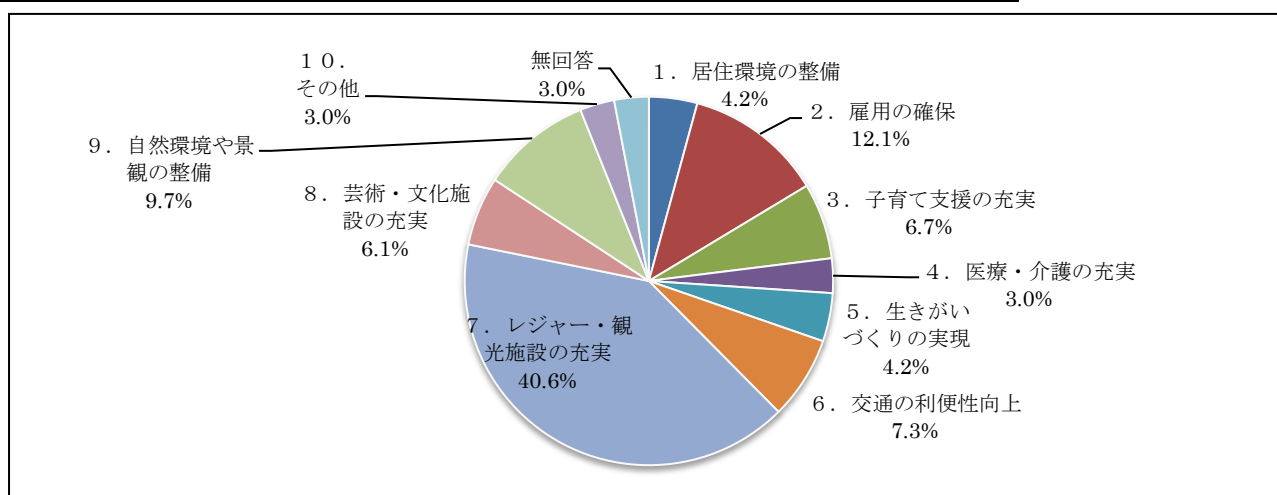
問13. 問12で「その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、今後、定住人口（住みたい、住み続けたいと思う人）を増やすために、新居浜市が積極的に力を入れる（アピールする）必要があるものは何だと思えますか？（自由記入）



- ・太鼓祭り
- ・教育環境の充実
- ・新居浜市民が一体感が得られる事業（例：心豊かに安心して住める）幅広い地域福祉の充実
- ・まず、増やす必要がありますか？日本の総人口が減る中で、頑張る必要はないでしょう。今までの豊かさを維持、内容の充実を図るべき。その結果、良さが理解され人口が増えるようになれば良いでしょう。

問14. 今後、交流人口（行きたい、行ってみたいと思う人）を増やすために、新居浜市が積極的に力を入れる（アピールする）必要があるものとして、最も当てはまるものは次のうちどれですか？（1つ選択）

1. 居住環境の整備（空き家対策・お試し移住を含む）	7人
2. 雇用（働く場）の確保	20人
3. 子育て支援の充実	11人
4. 医療・介護の充実	5人
5. 生きがいつくり（市民総活躍社会）の実現	7人
6. 交通の利便性向上	12人
7. レジャー・観光施設の充実	67人
8. 芸術・文化施設の充実	10人
9. 自然環境や景観の整備	16人
10. その他 →※問15へ	5人
無回答	5人
合計	165人



「7. レジャー・観光施設の充実」と答えた方が最も多く（40.6%）、次いで、「2. 雇用の確保」（12.1%）、「自然環境や景観の整備」（9.7%）の順となっています。

問15. 問14で「その他」と回答された方にお伺いします。具体的に、今後、交流人口（行きたい、行ってみたいと思う人）を増やすために、新居浜市が積極的に力を入れる（アピールする）必要があるものは何だと思えますか？（自由記入）

- ・太鼓祭り
- ・雇用とレジャー
- ・モラル、マナーの向上
- ・産業遺産、東洋のマチュピチュ 他のPRが下手！

問16. 新居浜市の都市ブランドを確立し、定住人口及び交流人口の増加につなげようとする  
ことについて、何かご意見がありましたらお願いします。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介し  
ます。

- ・雇用の確保と子育て支援が必須だと思います。
- ・近隣の市などに比べると、とにかく子育て支援的なものが少なく感じる。高齢者、障がい者の支援も大事だが、これから納税する世代である子どもを育てやすい環境をつくっていかないと近隣の市に定住されると思う。
- ・子育て支援の充実はかなり重要だと思います。2人目の出産を敬遠する人も多いように感じます。隣の西条市には設備のいい体育館や遊具がたくさんある公園、遅くまで開いている図書館などがあります。近くにお手本があるので見習ってはどうか。
- ・大学を卒業した後、また新居浜に帰って働ける場(やりがいのある職場)を確保して、若者が増えるまちを目指してほしい。
- ・住友各社との連携をより密にした雇用拡大策と新規就業者に対する持ち家政策(補助等)を推進する。
- ・住友グループに依存する体質から抜け出せず、新しい産業が育たない。若い優秀な人が入りたい企業が少なく、人材が流出しているのでは?新しく起業する会社に対してもっと産業振興を図るべき。
- ・進学した人たちが就労しやすい環境を整備することで、人口低下に歯止めがかかるのではないのでしょうか。日本中に大学、専門学校が多くあるため、学校の創立で若者を呼び込むことは難しいと考える。また、車による移動が主であるため、低料金で待ち時間の少ないミニバスやミニタクシーを公共機関として整備すべきである。
- ・新居浜市は雇用・医療・諸々の施設が充実していると思いますが、交通の利便性とモラル・マナーは非常によくはないと感じています。そこが新居浜を住みやすい良いまちと県外の知人たちにPRしきれない点です。
- ・交通の利便性向上という意味での道路の整備がもっと必要だと思います。
- ・まだ少数ではありますが、路上禁煙地区から転居すると、あちらこちらでタバコを吸う姿はびっくりすると共に残念な気持ちになります。交流人口も考えるならば、訪れてほしいスポットだけでも配慮が進むといいなと思います。
- ・太鼓祭りを安全かつ健全なものにすることで、また県外から異動等で来ている人にも魅力的な祭りにする  
ことで、新居浜市に対する考えが良い方向にかわるのではないかと。
- ・別子銅山の産業遺産、太鼓祭りなどは、市外や県外へ誇れるものとして、これ以上のものはないと思  
う。これらの宣伝にもっと力をいれてほしい。祭りは市外、県外の観光客を受け入れる体制(駐車場  
など)をもっと考えるべきである。
- ・東北のねぶた祭りのように、新居浜太鼓祭りの全国展開を目指してはどうか。各地方の伝統行事に太  
鼓台を送り込み、共にその行事を盛り上げる一役となれば、一朝一夕ならずとも、祭り本番には全国  
各地から来訪者が集まり、市民の応援と癒しの場創りにもなるのではないのでしょうか。

- ・太鼓祭りで集客がある時に、旅行だけでなく定住しませんか？のアピールをもっとするべき。
- ・別子銅山産業遺産をしっかりと整備すること。東洋のマチュピチュまで大型バスが入れるように道路整備を行うこと。新居浜別子山線の幹線道路を早く整備して、四国中央市からも大型バスが入れるようになることが必要です。
- ・別子銅山にまつわる歴史に土着した歌とか踊り（大鉾の歌、別子音頭など）をイベントや新居浜祭りなどで広めてみてはどうでしょうか。
- ・東平行き観光バスツアーに参加しました。ガイドさんもとてもよく、感動して帰りましたが、何かランチやアイスを付けるなどあれば子どもを連れてまた行きたくと思います。
- ・食べ物ももっと積極的に発信し、まずは住んでいる人が新居浜の良い所にきちんと気付くこと必要だと思います。ずっと新居浜にいる人ほど良さに気付いていないと思うことが多いので。
- ・新居浜らしさの食文化の充実と掘り起し。ふぐざくのアピール。食べることは命。
- ・高知や徳島でしているように定期的にマルシェや市場をしたら人も集まると思います。日曜市も、もっとチラシなどでアピールしたら、人も集まるし、お店を出す人も増えると思います。
- ・新居浜市は県内でも人口の多い方だが、魅力のある観光、レジャー施設に乏しく、定住したいと思える都市とは言えない。愛媛では他にはない遊園地や水族館、ショッピングモールの誘致など改善策はたくさんある。マイントピアが好調であり、その風に乗って今こそ新しい施設をつくる時だと思う。
- ・昨年、新名所としてあかがねミュージアムが誕生したが、大人数収容可能な市民文化センター及びその周辺設備の建て替えを推進しては。建物も古く、耐震化も十分ではないと思うので、中央公園や駐車場の整備も含めて近代的な大文化施設を建築し、多くのアーティストや文化人を招いてほしい。
- ・新居浜市は他市に比べて、文化、芸術、芸能の面に劣っていると思います。豊かな心を育てるためにも必要であるし、これからの新居浜市を支えていく若者たちが増えるように知恵を出していかなくてはいけないと思います。新居浜市には素晴らしいものがたくさんあるのを、住んでいる市民の皆さんに知ってもらうためのPRも必要です。
- ・駅前をもっとにぎやかにしてほしい。アーケード商店街の設置等。
- ・昭和通りの商店街の活性化。
- ・「老後（年金生活者）に住みたいまちづくり」というのはどうでしょう。
- ・UターンIターンを計画中的の方に対しての支援とその広報の計画の充実。
- ・人口減少が進んでいく中で、子育てや医療、介護などの社会保障の充実が不可欠な課題である。今後、消費税も上がり、ますます家計の負担が増してくる。行政がしっかりとサポートしてほしい。
- ・尻無川にサギやカモが飛来し、自然豊かになったと感じている。ここに昔のようにホテルが乱舞すれば人が集まるだろう。
- ・他市の真似、後追いをするのではなく、他にない新しいものをやらないと受けない。
- ・新居浜は工業都市であるから、公共施設の充実をメインに、豊かな都市、住みやすい都市としてアピールしていくのがいいのではないかと思います。
- ・人口の増加の目的のために都市ブランドが必要だということが理解でき難い。このための予算を、市民が新居浜を魅力あるまちだと自ら感じられるまちにするために使えば、自ずと人々は集まってくるのではないかと思います。このことが都市ブランド化に繋がるのかどうかわかりません。
- ・定住人口、交流人口に繋げようとするならば、一つには、新居浜市ならではのブランドを確立すべきだと思います。そのブランドについては地域の有識者のご意見をいただければいいのでは。
- ・人口を増やすことの労力は、現在の人口変動を見ても無駄に終わると思われる。人口が減少することを基に、「実感できる中身の充実」を図ることを進めてほしい。

<まとめ>

まず特筆すべきことは、当アンケートについては、平成28年度市政モニター数182人に対して、回答者数が165人、回答率90.7%という極めて高い回答結果を得たということです。このことは、何よりも新居浜市の知名度・認知度が低いとの認識を持たれた上で、市のブランドイメージ（魅力や強み）を高めたいとの思いや関心があることの裏返しではないかと推察されます。

このことを受けまして、当アンケートの趣旨である都市ブランド戦略の確立に対しては、問4において84.2%もの人が「力を入れるべき」と回答していること、また問9において85.5%もの人が「新居浜市を好き」と回答していることなどから、新居浜市のイメージを何とかして高めたいとの思いが伝わってくる結果が示されました。

ここまでを見てまいりますと、総論賛成ということは言えるものの、個別的な具体論に話が進んでいくと、新居浜での居住歴、男女、世代、置かれた環境などによって、力を入れるべき対象項目が分散される結果として、市民の間には中途半端な印象が否めなくなることがこれまでの取り組みの反省点として挙げられるものと認識しています。

当アンケートの結果のみを見ますと、問5において、新居浜市を一言で表現するとすれば、「歴史と文化にあふれるまち」（回答率63.0%）が群を抜いていること、また問10において、新居浜市が誇れるものとして、「新居浜太鼓祭り」（47.3%）、「別子銅山産業遺産群」（23.0%）の2つで7割を占めていること、問12において、定住人口を増やすために力を入れることとして、「雇用の確保」（32.7%）、「子育て支援の充実」（20.6%）の2つで5割を超えていることなどから、これらの項目については重要視しなければならないと思われるものの、当アンケートの回答者数は市民全体のわずか0.1%程度にしか過ぎません。

いかにして多くの市民の共感を得た上で、都市ブランドを確立するか、逆に言うと、市民の共感が得られなければ都市ブランドは確立し得ないとも言えるため、この点をクリアすることが都市ブランドの確立に向けた大きなポイントであるといっても過言ではありません。

また、都市ブランドを確立するということは、決して目先の問題ではなく、5年後、10年後を見据えた新居浜市のあるべき姿・望ましい姿をイメージできるものでなければなりません。

このため、本年度取り組んでいる都市ブランド戦略の策定については、㈱博報堂に業務委託を行い、新居浜市を取り巻く客観的な各種基礎データの収集・分析を始め、これまでに主婦、高校生、高校の進路担当教諭へのインタビューを行うほか、市民へのアンケート調査、市役所職員によるワークショップなどを実施することにより、多角的な切り口から専門的なアプローチとブランディング作業を進めているところです。

本年度中には、都市ブランド戦略を策定することとしていることから、時機を見て市民の皆様にも戦略案を提示し、ご意見等をいただくことを考えておりますので、引き続き当該取り組みに対するご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

（担当課：地方創生推進室）

## テーマ② 「祖父母世代」と「子育て世代」の子育て観調査

### 【調査趣旨】

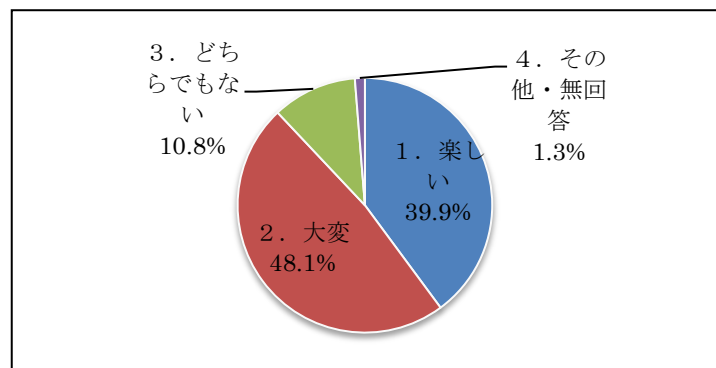
時代とともに、環境の変化や様々な物の開発により世の中が変化し、それに伴い、子育ての考え方やあり方も変わっていきます。新居浜市子育て支援課では、昔からの変わらぬ知恵を大切にしつつ新しい考えや便利なグッズを取り入れ、地域で活躍できる祖父母世代の人材養成や子育て世代の負担軽減を図ることを目的とした『イクじいイクばあ応援事業』を実施します。子育て観を比較するために、市政モニターの皆さんにアンケート調査し、本事業の中で企画している「孫育てガイドブック」に掲載するなど参考資料に使用したいと考えています。

(担当課：子育て支援課)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

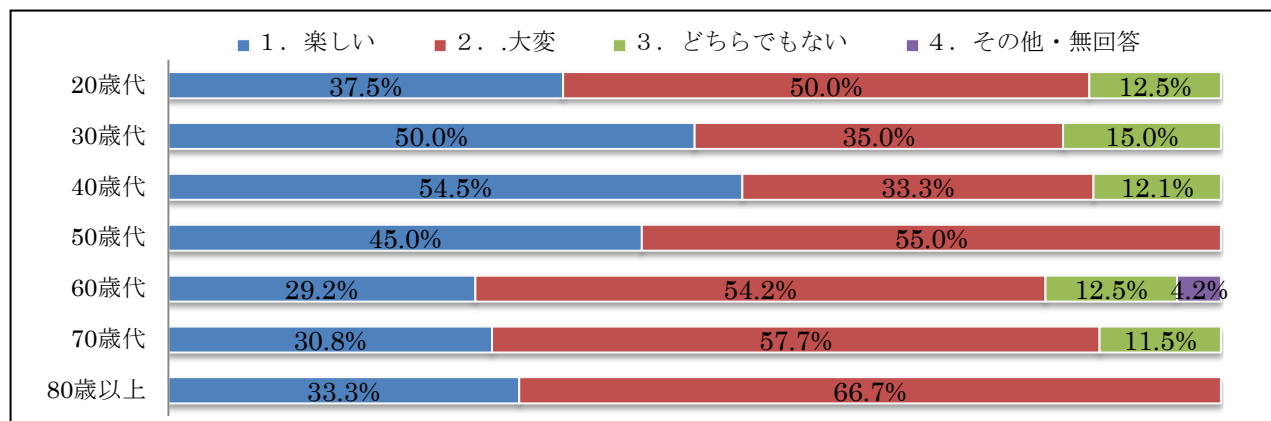
### 問2. 「子育て」についてどう感じていますか？（1つ選択）

1. 楽しい	63人
2. 大変	76人
3. どちらでもない	17人
4. その他・無回答	2人
合計	158人



### 【クロス集計（年代別）】

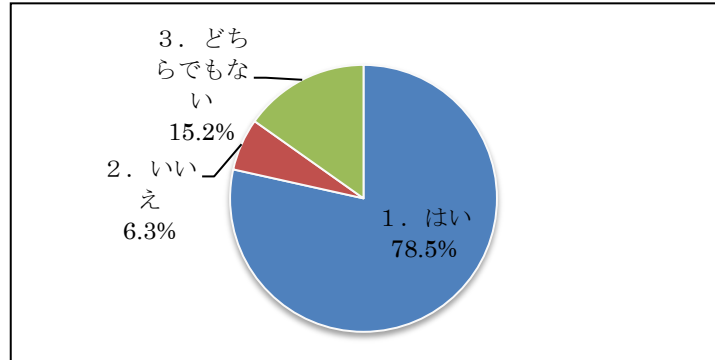
	1. 楽しい	2. 大変	3. どちらでもない	4. その他・無回答	合計
20歳代	3人	4人	1人	0人	8人
30歳代	10人	7人	3人	0人	20人
40歳代	18人	11人	4人	0人	33人
50歳代	9人	11人	0人	0人	20人
60歳代	14人	26人	6人	2人	48人
70歳代	8人	15人	3人	0人	26人
80歳以上	1人	2人	0人	0人	3人
合計	63人	76人	17人	2人	158人



「2. 大変」と答えた方が最も多く（48.1%）、「1. 楽しい」と答えた方（39.9%）を上回っていますが、年代別で見ると、20～40歳代は「楽しい」がやや上回り、50歳代以上は「大変」が上回っています。

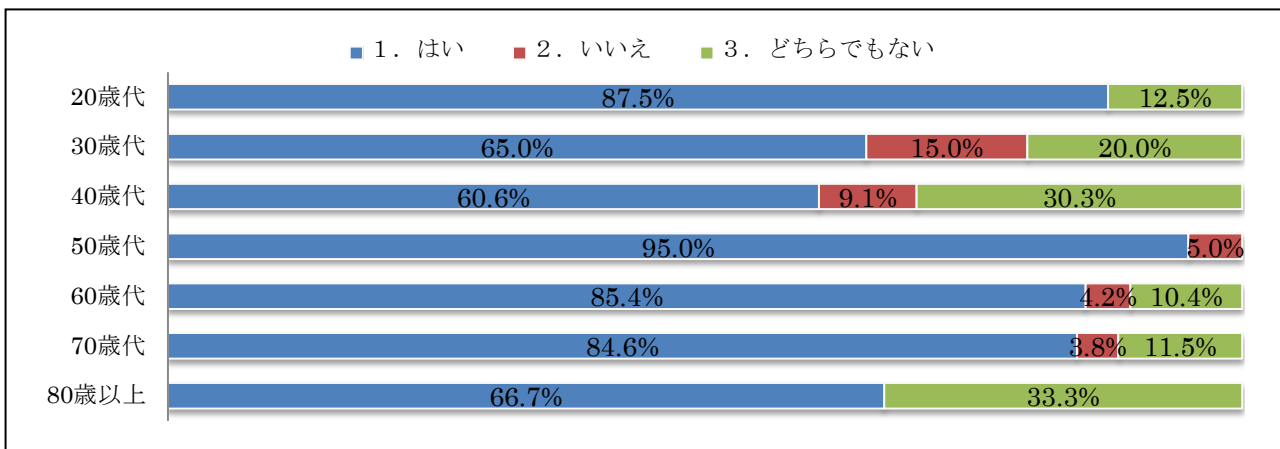
問3. 祖父母世代、子育て世代では子育て観にギャップがあると思いますか？（1つ選択）

1. はい	124人
2. いいえ	10人
3. どちらでもない	24人
合計	158人



【クロス集計（年代別）】

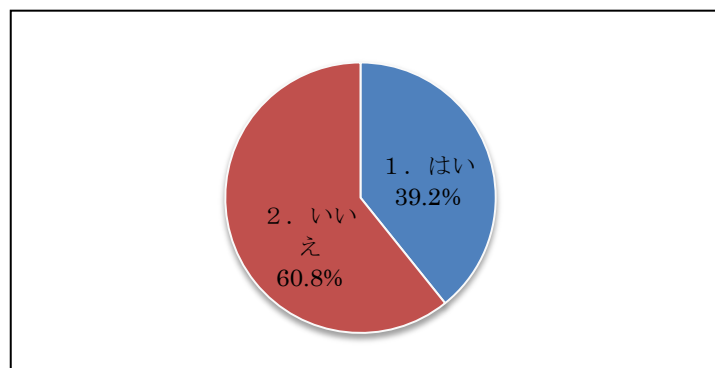
	1. はい	2. いいえ	3. どちらでもない	合計
20歳代	7人	0人	1人	8人
30歳代	13人	3人	4人	20人
40歳代	20人	3人	10人	33人
50歳代	19人	1人	0人	20人
60歳代	41人	2人	5人	48人
70歳代	22人	1人	3人	26人
80歳以上	2人	0人	1人	3人
合計	124人	10人	24人	158人



「1. はい」と答えた方が全体の78.5%を占めており、多くの方が祖父母世代と子育て世代では子育て観にギャップがあると感じていることがわかりました。

問4. 子育て中ですか？（1つ選択）

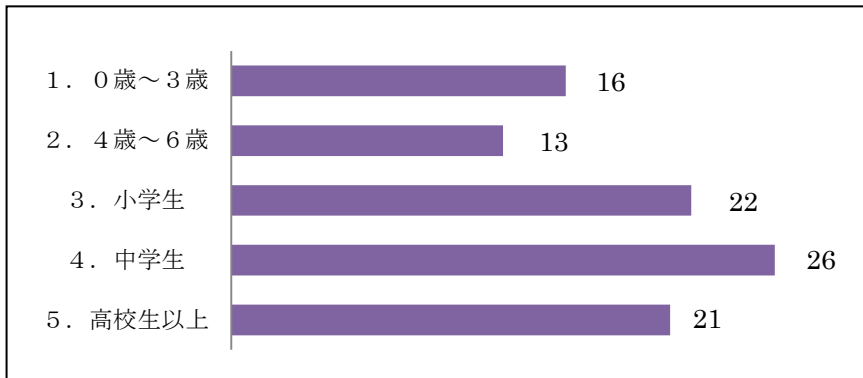
1. はい	62人
2. いいえ	96人
合計	158人



(以下、問4で「1. はい」と答えた方にお伺いします。)

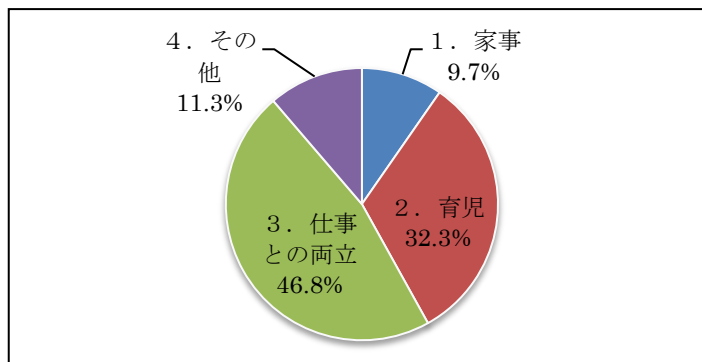
問5. 子どもの年齢は？ (複数選択)

1. 0歳～3歳	16人
2. 4歳～6歳	13人
3. 小学生	22人
4. 中学生	26人
5. 高校生以上	21人
合計	98人



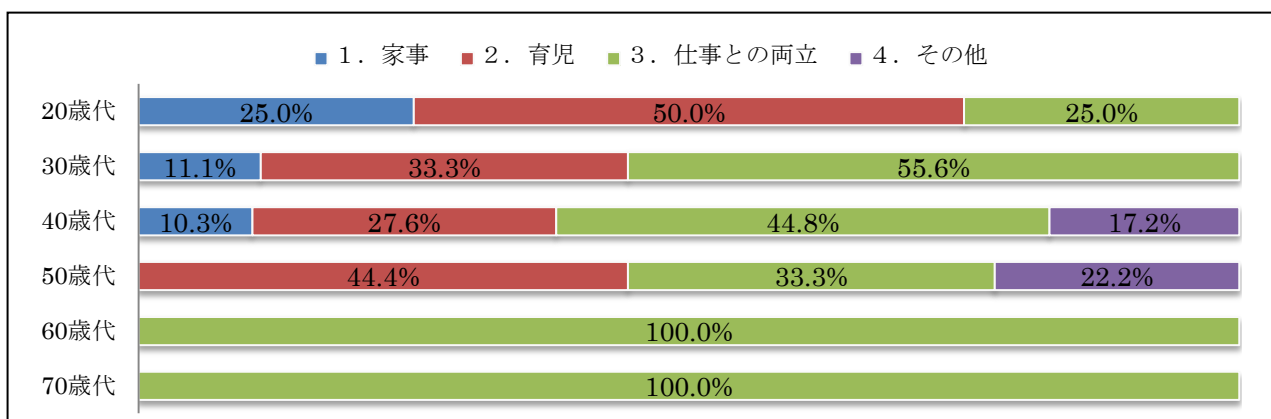
問6. 子育てのなかで何が一番大変だと感じますか？ (1つ選択)

1. 家事	6人
2. 育児	20人
3. 仕事との両立	29人
4. その他	7人
合計	62人



【クロス集計 (年代別)】

	1. 家事	2. 育児	3. 仕事との両立	4. その他	合計
20歳代	1人	2人	1人	0人	4人
30歳代	2人	6人	10人	0人	18人
40歳代	3人	8人	13人	5人	29人
50歳代	0人	4人	3人	2人	9人
60歳代	0人	0人	1人	0人	1人
70歳代	0人	0人	1人	0人	1人
合計	6人	20人	29人	7人	62人



「3. 仕事との両立」と答えた方が全体の46.8%を占めており、次いで「2. 育児」と答えた方が32.3%となっています。

問7. 子育てに関して、親から言われて・されて嬉しかったこと、悲しかったことについてそれぞれ教えてください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

(嬉しかったこと)

【育児や家事のサポート】

- ・ 仕事中や自分が病気になって辛い時に、子どもの面倒を見てくれたこと。
- ・ 子どもを預かってあげるから息抜きしてきなさい、と言われたこと。
- ・ 毎晩の夜泣きで寝不足になり、昼間どうしても横になりたかった時、「安心して寝ておいで」と赤ちゃんを預かってくれたこと。
- ・ 月に一回、子どもを見てもらいました。なかなか自由な時間を持ってない中で、ゆっくり息抜きできる、この時間は有り難かったです。
- ・ 仕事が大変な時期に、いろいろな面で協力してもらったこと。
- ・ 手作り弁当を毎日つくってくれたこと。
- ・ 食事を一緒にすることが多く、家計も助かり、手間も減る。
- ・ 食事の準備をしてくれた時は嬉しかった。

【ほめ言葉、気配り】

- ・ 偉い、よく子育てを頑張っているねとほめてくれたこと。
- ・ 色々と悩みながら子育てしていますが、「上手に育てている、子どもたちはとてもいい子だ」と親は言ってくれます。何が正解かわからない手探りの子育て中で、先輩である親にそう言ってもらえるのは励みになります。
- ・ 「いつもよく頑張っているよ」とよく声をかけてくれて嬉しい。困った時はすぐに来てくれる。いつも気にかけていてもらえると嬉しいし、甘えることもできる。
- ・ 「きちんとした子育てをしている」とほめてくれたこと。
- ・ 誕生日などの記念日や、節目には必ずお祝いをしてくれたこと。
- ・ ちょっとした気配りや言葉

【孫への愛情、交流】

- ・ 孫が可愛いと言ってくれたこと。成長を喜んでもらって嬉しかった。
- ・ 子どもをとても大事に考えてくれて、何でもしようとしてくれる。
- ・ 本当によく会いに来てくれた。一緒に遊んでくれた。
- ・ 運動会に来てくれたのが嬉しかった。
- ・ 子どもを可愛く思って大事にしてもらえること。子どももなついていること。
- ・ 離れて住んでいるが毎日電話でいろいろな話をしていて、話をするのは大事なこと。

【アドバイス、導き】

- ・ 悩んでいる時にアドバイスをしてくれて助けてくれる。
- ・ 「自分の子どもに責任を持てるのは親だけだ。自分たちは孫が可愛いから甘やかすけど、お前は責任を持って育てろ」と父に言われたことが嬉しかった。
- ・ 昔の育児方法を押し付けず、今のやり方を見守ってくれたこと。



(悲しかったこと)

**【否定、押し付け、無理解、プレッシャーなど】**

- ・「育て方が悪い」と言われたこと。
- ・子育てに関する親からの一方的な押し付け。
- ・子どもが2歳でフルタイムで働いていた時、預かってくれたが、残業や土日の出勤について悪く言われたこと。保育園選びにも意見してきた。
- ・昔の感覚でこちらが今やっていることを否定してくる。
- ・自分の価値観だけで育児論を話す。
- ・相手の意見や子育て方法に共感しつつ、自分の意見も言うのが理想ですが、現実はそううまくはいかない。今の子育ては昔と違うなどと言えば必ず衝突する。子どもが赤ちゃんの頃はけんかばかりでした。
- ・母乳育児メインでやっていたのに、もっとミルクを飲ませるように言われて負担になった。
- ・子どもが頑張ったことを話したのに、「小遣いがあるのか？」と母親に聞きにきたこと。ほめるだけで十分なのに、と悲しかった。
- ・「毎日楽しいでしょう」とか言われても楽しさを感じる暇がない。「何でも頼ってね」とも言われるが、さすがに義母には頼みにくく、あまり言われるのもしんどい。
- ・子どもがちゃんとしないのは親ができてないからと言われた。

**【孫への与えすぎ、甘やかし】**

- ・おやつは種類、量を考えているので、甘すぎるものを大量にいただくと少し困る。
- ・食事の前におやつを与えられたのは嫌だった。
- ・食事の際に、子どもに自分たちが使った食器で食べさせていたことがあって困る。お菓子をよくくれるのだが、与えたくないものまでくれて困った。
- ・子どものために注意したり、叱っている時に「子どもがかawaiiそう」と言う。

**【他者との比較】**

- ・兄弟や他人と比べられること。
- ・姪との比較をされて、落ち込んだことがある。

問8. 子育てで親（配偶者の親を含む）との関係を良好に保つために心掛けていることはありますか？（自由記入）

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

**【交流、コミュニケーション】**

- ・機会を見つけて会いに行くこと。子どもの顔を見せること。
- ・会った時に子どものこと、自分のことを話してコミュニケーションをとること。
- ・運動会などの園や学校行事に誘う。
- ・子どもと触れ合う時間を増やす（一緒に出掛ける、月1回集まる、長期連休には帰省する、まめに連絡をとるなど）。
- ・年に数回は顔を合わせること。
- ・離れて住んでいるので、写真を送る、子どもの様子を伝えるなどまめに連絡をとること。

### 【適度な距離感】

- ・お互いにちょうど良い距離を保つように心がけている。
- ・話をきちんと聞いて共感できることは取り入れるようにする。頻繁に頼らない。
- ・お互い依存しすぎないこと。干渉しないこと。
- ・あまり頼りすぎない。お礼は小さなことに対しても言う。
- ・細かいことに口出しをしない。
- ・心配事は伝えないようにしている。良いことは伝える。
- ・同居していないので適度な距離感を保ちながら接する。アドバイスには耳を傾けるが、適当でないことは、それとなくそらす。
- ・基本線を守り、それ以上の干渉や深入りをしない。
- ・自分が責任を持ってしっかり育てること。親に負担をかけない。

### 【感謝の言葉、気配り】

- ・気遣いは忘れない。してくれたことを当たり前だと思わない。感謝すること。
- ・常に感謝を伝えている。子どもを預かってもらった時は、手土産を渡す。
- ・子どもがある程度大きくなってきたら、子どもから直接お礼を言う、また子どもの絵や手紙を渡す。

### 【子育て観の違いへの対処】

- ・子育て方法はみんな違うので、親に見てもらう時は親のやり方で見てもらう。それとなく最近の子育ての仕方を話したりするが、実行を押しつけない。
- ・自分の方針ははっきりと言う。
- ・田舎暮らしの夫の両親はどうしても昔のやり方が「常識」と思いがちです。的外れな言葉を言われた時は根気強く説明することを心がけましたが、同じ会話の繰り返しに疲れました。
- ・人はそれぞれ考え方が違うとわりきって、聞くだけにしている。
- ・自分の子育てに対する考えはしっかりと伝える。悩んでいることは相談しない。相談するとアドバイスをくれるけれど、その通りにしないといけなくなるので。

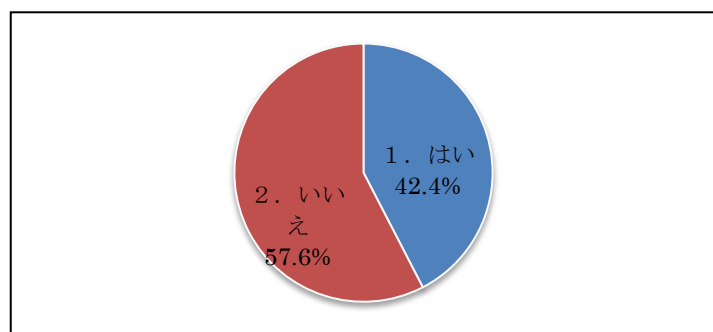
### 【相談】

- ・子育てで迷った時は、親ならどうするか、自分たちの子どものころはどうだったか尋ねる。
- ・子どもたちへ相談することと、悪口を言わないこと。
- ・母親に「～してもよいか」と聞くようにしている。

(全員にお伺いします。)

問9. あなたには孫がいますか？ (1つ選択)

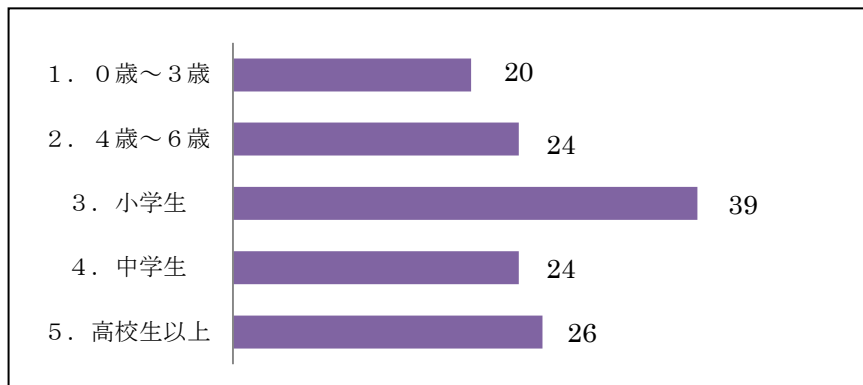
1. はい	67人
2. いいえ	91人
合計	158人



(以下、問9で「1. はい」と答えた方にお伺いします。)

問10. 孫の年齢は？(複数選択)

1. 0歳～3歳	20人
2. 4歳～6歳	24人
3. 小学生	39人
4. 中学生	24人
5. 高校生以上	26人
合計	133人



問11. 孫育てに関して、息子や娘から言われて・されて嬉しかったこと、悲しかったことについてそれぞれ教えてください。(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

(嬉しかったこと)

【交流、コミュニケーション】

- ・運動会や発表会などの孫の学校イベントに誘ってくれること。楽しみにして参加します。
- ・電話で声を聞かせてくれる。
- ・毎週メールで孫の写真を添付して近況を伝えてくれる。
- ・時折、学業やスポーツ等の成長の報告を聞いた時、嬉しい。
- ・食事の時、「おじいちゃんの作った野菜おいしいね。あれも？これも？」と聞いてくれる。
- ・孫たちは遠くにいるので連絡は電話やFAXです。何かにつけ絵が送られると嬉しいです。
- ・母の日や誕生日等のプレゼント。
- ・お互いの生年月日を覚えてくれて、祝いの交流を続けています。

【サポートと感謝の言葉】

- ・何かにつけて頼ってくれる。相談してくれる。
- ・あてにされると嬉しい。
- ・息子夫婦が共稼ぎなので、孫の長期休みの際は家に来て宿題や一緒に遊んでやれる。親の存在価値を見せる絶好の機会となる。
- ・子育てが大変な時、アドバイスをしながら家事、育児を手伝っていた時は娘に喜んでもらえました。近くにいたから、できたのだと思います。
- ・孫を預かるに際し、安心して全面的に任されることが大変だけれども嬉しい。
- ・働くためには親の手助けがないと働けないので、助かっていますと言われたこと。
- ・「助かる」という言葉をよく聞く。また次もこうすれば助かるのでは、と思い、できる範囲でサポートしている。
- ・「ありがとう」の言葉。
- ・誕生日に「いつも見守ってくれて感謝しています。いつまでも元気でいてください。」と手紙をもらいました。大切に思われていることを嬉しく思いました。

**【その他】**

- ・孫の就職が決まったこと。
- ・祖父母から言われ、近所の人に挨拶ができるようになったこと。
- ・孫が興味を持つことを遊びの中に取り入れていることが評価されて嬉しかった。

(悲しかったこと)

**【子育て観、立場の違い、否定】**

- ・「昔とやり方が違うから」と言われて腹が立った。
- ・娘の孫なので我が子同様に悪い時はビシッと叱る。孫は口答えするけれど娘は静観していて聞き分けしないときは諭す。孫はなかなか素直にならない。我が子と違って孫にはどうしても甘くなる。いい時は楽だが、反抗期などは大変むつかしい。
- ・どうしても甘やかしてしまうので娘にはよく言われました。
- ・孫たちが小さい頃、服とかおもちゃを必要以上に買い与えて、息子から「相談してから買うようにしてほしい」と言われた時は、少し淋しかったけど反省もした。
- ・おもちゃ等、あまり買い与えないように言われると、納得はしつつも淋しく思います。
- ・孫の進路について助言したら、今と昔の考えが違うから言わないでほしいと娘に言われた。

**【遠距離によるサポートの困難さ】**

- ・子、孫は遠方のため孫育てに関与していません。娘は両親が近くにいないので、何かにつけ不便がっています。こちらも何かにつけ遠方まで行かなければならず、離れていると孫育てに関しては、お互い大変です。
- ・東京の娘夫婦が共稼ぎのため、時々SOSが来る。ともかく忙しい。

**【その他、「孫育て」について】**

- ・同居でいつも一緒にいるので、ある程度の距離感を持つことも必要な、と思う。
- ・気遣いを感じた時は嬉しいが、その逆は悲しい。
- ・子どもは家や国の宝として、手助けをしてきた。成長するのが嬉しかったが、成長するほど考え方に隔たりが大きくなる。
- ・私たちの時代には、子どもの世話を親に託す事などあまりなかった様に記憶しています。今の若い夫婦は、共稼ぎをし、孫の面倒は爺さん婆さんに頼りきっています、また、塾や習い事がいっぱい、親の愛情に飢えている様に感じます。しかし、孫たちは時々、私たち夫婦と曾祖母に、塗り絵や、お絵描き、手紙をくれます。ありがたい事です。後数年すれば、孫の成長とともに、家に寄り付かないか心配です。
- ・孫育て？意味がわかりません。孫を育てるために直接関与しているとは意識していない。

問12. 孫育てで息子や娘夫婦との関係を良好に保つために心掛けていることはありますか？(自由記入)

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

### 【適度な距離感】

- ・あまり干渉しないように努める。
- ・あまり口出ししすぎない。
- ・つかず、離れずの気持ちで孫の成長を見守る。サポートはさりげなくする。
- ・お互いにストレスをためないために、できる事とできない事ははっきり言う。
- ・とにかく深入りはしない。相手の意見は聞く。相談を持ちかけられたら真剣に取り組む。
- ・必要以上に手出し、口出しをしない。「用事があれば言ってね」とゆったり構えています。

### 【認め合い】

- ・お互いが認め合うことだと思います。
- ・私たち世代の子育てのやり方を強く言葉にしない。
- ・育児について、アドバイスはしても押し付けはしないこと。
- ・若者の意見を聞き、十分に話し合うようにしています。
- ・孫の育て方にはそれぞれの親の育て方があるので、あまり立ち入らないようにしています。  
相談されたら話に乗りますし、あまり道に外れたり、しきたりに沿っていない行動をした時は、注意をしたりアドバイスをしたりします。

### 【サポート、助け合い】

- ・娘だけに子育てを任せない。一緒にする。
- ・自分だったらこうしてくれたら助かる、と思うことを押し付けでなく無理なく行うよう心掛けている。
- ・「子を育てるのは親の役目」を基本に、応援を自ら楽しみながらすること。
- ・家族みんなで何事も協力すること。
- ・お互いに助け合い精神が一番。

### 【子育て観の違いへの対処】

- ・自分が子育てしてきた時代とは違うので、あまり口を出さないようにしています。相談された時は言います。
- ・昔のことを言いすぎないこと。自分自身が今の時代を認識して若返ること。

### 【交流、コミュニケーション】

- ・全員集合、手作り飲みケーションによる情報交換を週1回実施している。
- ・記念日を祝う。家族旅行をする。
- ・遠方に住んでいるので、帰省した時には子の幼い頃の成長の様子を書いていたノートを見せたり、日常で印象深かった思い出を話したりするようにしている。子育ての参考になれば と思っている。
- ・月に1度は食事に来て楽しむようにしている。
- ・折々に連絡をとり合う。
- ・話をよく聞く。

### 【その他】

- ・特に気をつけないで、自然体の関係を心がけている。
- ・「親の時と爺さんでは違うさ」と言って、孫には甘く接する。一方、叱る時はしっかり叱る。  
プレゼントは息子や娘と相談して決める。
- ・孫の健康を気遣う。

<まとめ>

本アンケートは、地域で活躍できる「祖父母世代」の人材養成や「子育て世代」の負担の軽減を図ることを目的とした『イクじいイクばあ応援事業』の実施に先立ち、それぞれの世代の子育て観を把握し、「孫育てガイドブック」作成の参考資料とするために実施しました。

調査結果として、「子育て」についてどう感じているかでは、全体では「大変」と答えた方が48.1%で「楽しい」の39.9%をやや上回っていますが、年代別で見ると、20～40歳代は「楽しい」がやや上回り、50歳代以上は「大変」が上回っており、祖父母世代からの現在の子育てへの心配感が反映されています。また、それぞれの世代の子育て観に「ギャップ」があるかについては、「はい」が78.5%を占めており、ギャップを感じる方が大半を占めているようです。

自由記入として「子育て世代」が親から言われて・されて「嬉しかったこと」は、“辛い時に子どもの面倒を見てくれた”“自分を認め、子育ての頑張りを褒めてくれた”や“気配り”などがありました。「祖父母世代」が子から言われて・されて「嬉しかったこと」は“頼ってくれた”“相談してくれる”“あてにされる”や“ありがたい感謝の気持ち”“気配り”などでした。逆に「悲しかったこと」は、「子育て世代」は“否定された”“押し付けられると負担になる”や“子どもへの甘やかし”“他人との比較”など。「祖父母世代」では、“時代が違くと否定された”“甘いと言われた”や“遠く離れている”などでした。お互いに関わりながら、「子育て世代」と「祖父母世代」それぞれの立場からの思いがあるようです。

そのような中、「関係を良好に保つため心掛けていること」は、両世代とも“交流、コミュニケーション”“適度な距離感”が多く、“感謝・気配り・認め合う”を気に掛けている方も目につきます。

お互いに思いやり、感謝の気持ちはあるけれど、子育てになると時代を越えてのコミュニケーションは難しいようです。遠方に住んでいるなど、核家族も増えています。そのような思いや環境の変化の中で、皆様のご意見を参考に、『イクじいイクばあ応援事業』を実施して子育ての応援をしていきたいと考えています。

(担当課：子育て支援課)

### テーマ③ 新居浜市の自治会活動について

#### 【調査趣旨】

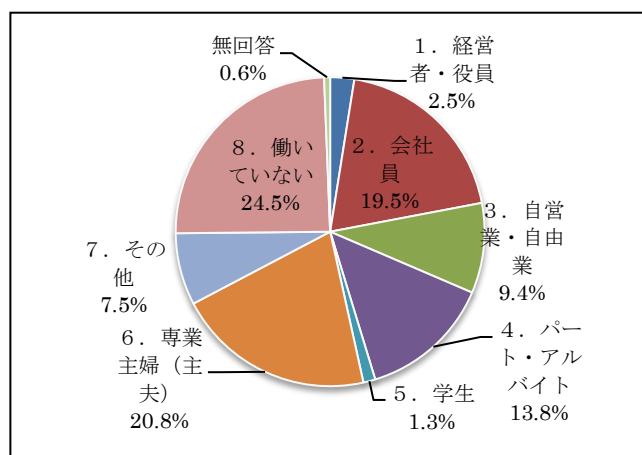
地域コミュニティ課では、自治会や市民活動の推進に係ることなど、地域づくりに関する仕事を行っています。

少子高齢化が進み、生活スタイルが多様化する中であって、市民の皆さま一人ひとりにとって、より暮らしやすい地域づくりが進められますよう、自治会や自治会活動に対しての皆さまの意識や意見を調査（自治会に加入しない理由や自治会に期待する活動等）し、今後の地域コミュニティの充実と自治会加入促進のための基礎データとして活用していきたいと思えます。  
(担当課：地域コミュニティ課)

(※問1はモニター属性確認のための設問であり、省略)

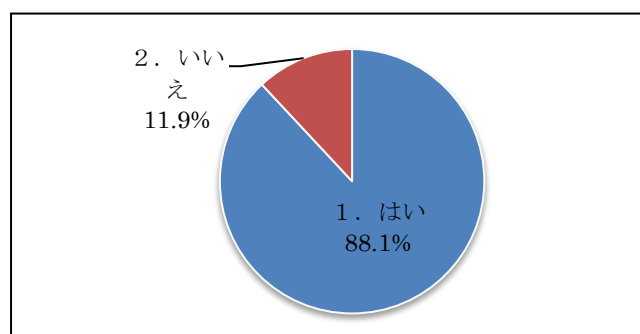
#### 問2. あなたの現在の職業を教えてください。(1つ選択)

1. 経営者・役員	4人
2. 会社員	31人
3. 自営業・自由業	15人
4. パート・アルバイト (フリーター)	22人
5. 学生	2人
6. 専業主婦 (主夫)	33人
7. その他	12人
8. 働いていない	39人
無回答	1人
合計	159人



#### 問3. あなたの世帯は自治会に加入していますか。(1つ選択)

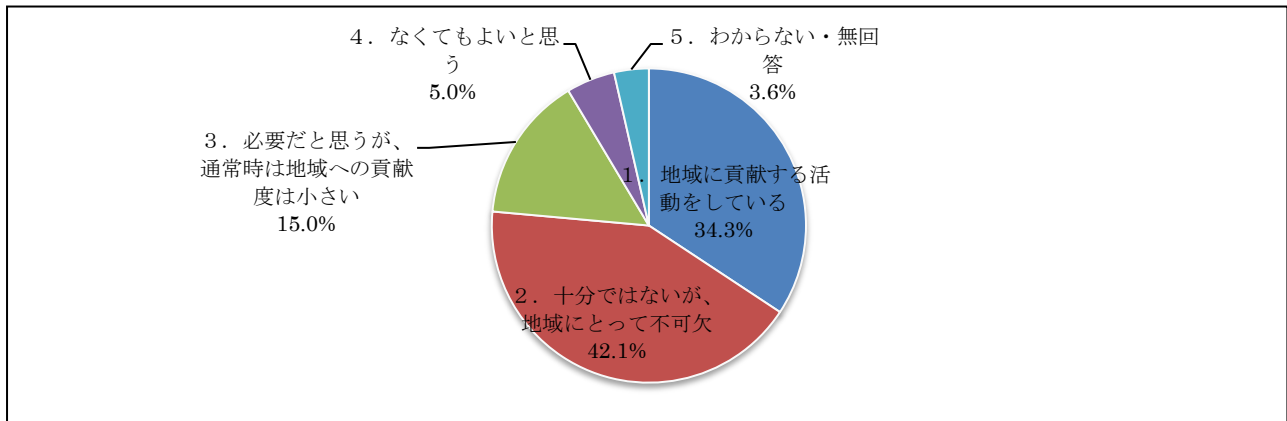
1. はい 自治会に加入している	140人
2. いいえ 自治会に加入していない	19人
合計	159人



「1. はい 自治会に加入している」と答えた方は全体の88.1%でした。平成27年度の新居浜市全体の自治会加入率65.8%と比較すると、かなり高い数値となっています。

問4. 自治会に加入している人にお伺いします。あなたが加入している自治会をどう思いますか。  
(1つ選択)

1. 地域に貢献している活動をしていると思う	48人
2. 十分ではないが、地域にとって不可欠な存在だと思う	59人
3. 自治会は必要だと思うが、通常時は地域への貢献度は小さいと思う	21人
4. 正直、なくてもよいと思う	7人
5. わからない・無回答	5人
合計	140人



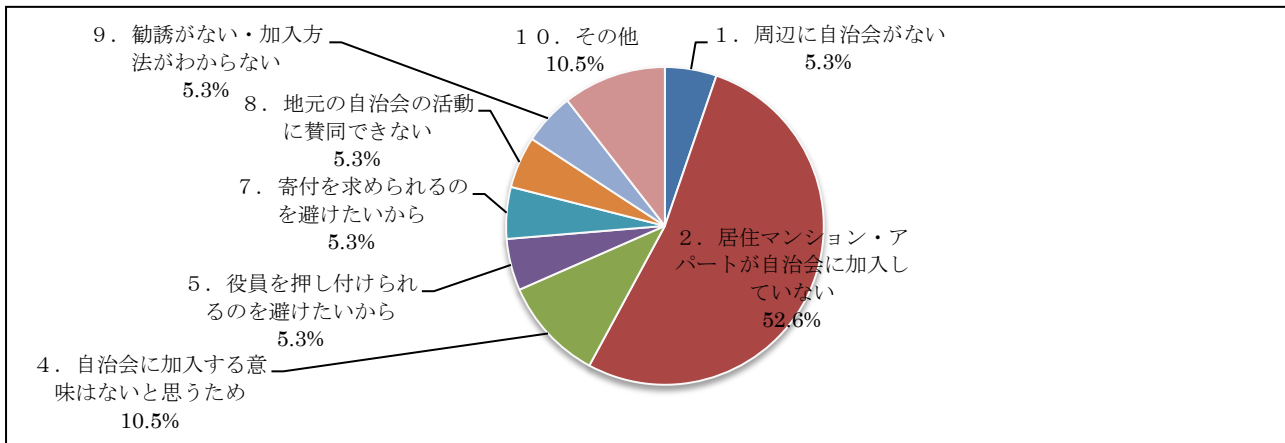
「2. 十分ではないが、地域にとって不可欠な存在だと思う」と答えた方が最も多く(42.1%)、次いで、「1. 地域にとって貢献している活動をしていると思う」(34.3%)となっています。

自治会に加入しているモニターの皆さんの多くは、自治会を地域にとって必要な存在と認識していることがわかりました。

問5. 自治会に加入していない人にお伺いします。自治会に加入していない理由は何ですか。  
(1つ選択)

1. 居住周辺地域に自治会がないため加入できない	1人
2. 居住のマンション又はアパート全体が自治会に加入していないので加入できない	10人
3. 世帯主が自治会に加入しない	0人
4. 自治会に加入する意味はないと思うので加入しない	2人
5. 自治会に加入すると役員を押し付けられるのを避けたいから加入しない	1人
6. 自治会費の負担をしたくないから加入しない	0人
7. 太鼓台や自治会館の寄付を求められるのを避けたいから加入しない	1人
8. 地元の自治会の活動に賛同できないので加入しない	1人
9. 勧誘がない・加入の方法がわからないので加入していない	1人
10. その他 →※問6へ	2人
合計	19人





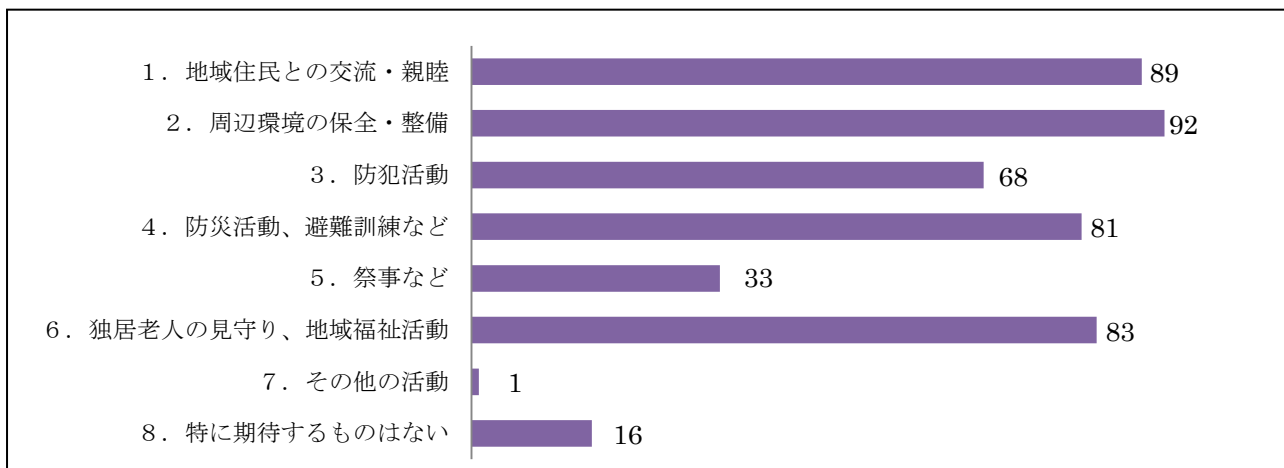
「1. 居住のマンション又はアパート全体が自治会に加入していないので加入できない」と答えた方が最も多く（52.6%）、次いで、「4. 自治会に加入する意味はないと思うため」（10.5%）、「その他」（10.5%）の順となっています。

問6. 問5で「10. その他」を選択した人にお伺いします。よろしければ自治会に加入していない理由を教えてください。（自由記入）

・人間関係が大変そう。  
 ・正しい決算書を作っていなかったため、数年前に脱会した。

問7. 全員にお伺いします。あなたは自治会に何を期待しますか。（複数選択）

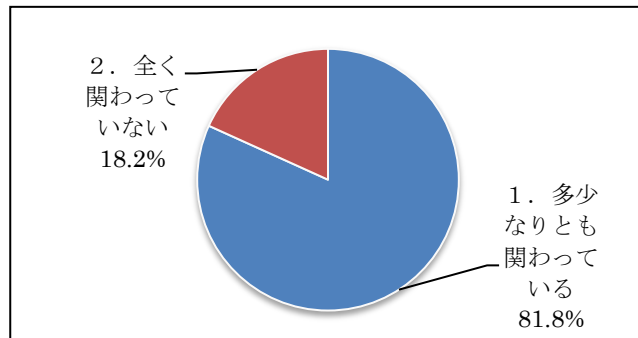
1. 地域住民との交流・親睦	89人
2. 周辺環境の保全・整備	92人
3. 防犯活動	68人
4. 防災活動、避難訓練など	81人
5. 祭事など	33人
6. 独居老人の見守り、地域福祉活動	83人
7. その他の活動	1人
8. 特に期待するものはない	16人
合計	463人



「2. 周辺環境の保全・整備」(92人)、「1. 地域住民との交流・親睦」(89人)、「6. 独居老人の見守り、地域福祉活動」(83人)、「4. 防災活動、避難訓練など」(81人)などを挙げられる方が多くなっています。「8. 特に期待するものはない」(16人)との意見もあるものの、多くの方が自治会に様々な役割を期待していることがわかりました。

**問8. あなたは自治会その他の地域活動にかかわっていますか。(1つ選択)**

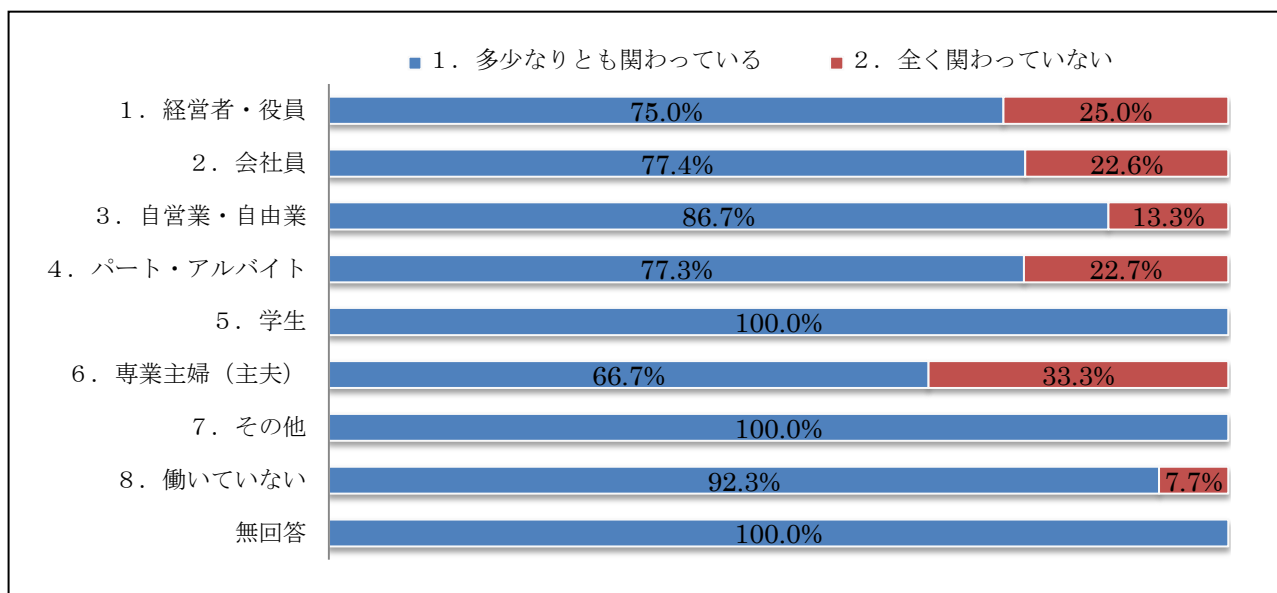
1. 多少なりとも関わっている	130人
2. 全く関わっていない	29人
合計	159人



「1. 多少なりとも関わっている」と答えた方は全体の81.8%でした。

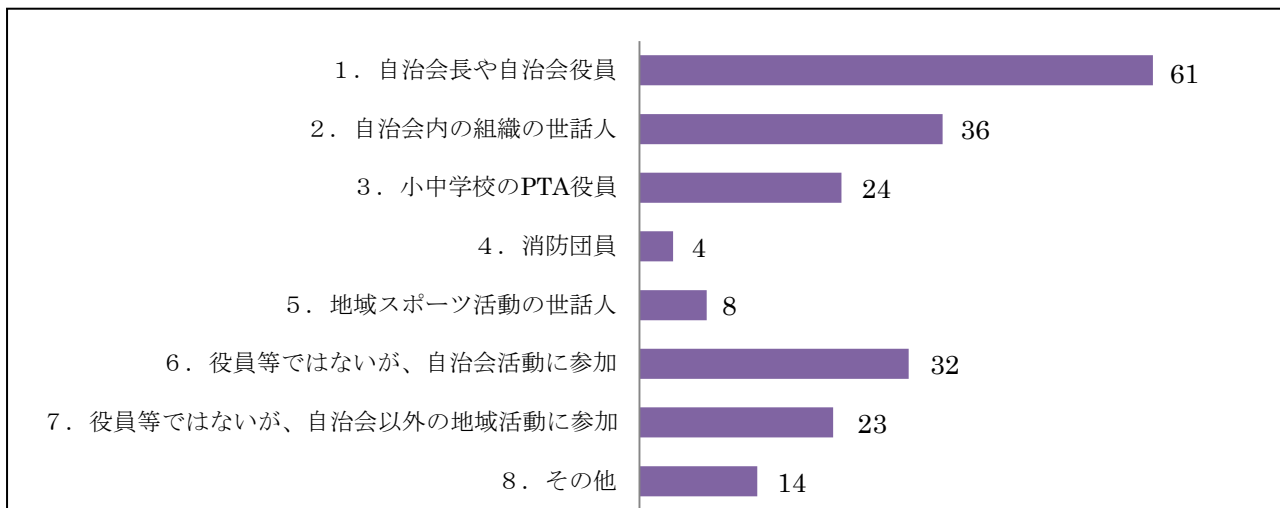
**【クロス集計 (問2 職業別)】**

	1. 多少なりとも関わっている	2. 全く関わっていない	合計
経営者・役員	3人	1人	4人
会社員	24人	7人	31人
自営業・自由業	13人	2人	15人
パート・アルバイト	17人	5人	22人
学生	2人	0人	2人
専業主婦 (主夫)	22人	11人	33人
その他	12人	0人	12人
働いていない	36人	3人	39人
無回答	1人	0人	1人
合計	130人	29人	159人



問9. 問8で「1. 多少なりとも関わっている」を選択した人にお伺いします。その活動はどのような活動ですか。(複数選択)

1. 自治会長や自治会役員	61人
2. 自治会内の組織(愛護会、青年団、婦人会など)の世話人	36人
3. 小中学校のPTAの役員	24人
4. 消防団員	4人
5. スポーツ少年団などの地域スポーツ活動の世話人	8人
6. 役員や世話人ではないが、自治会活動に参加している	32人
7. 役員や世話人ではないが、自治会以外の地域活動に参加している	23人
8. その他 →※問10へ	14人
合計	202人



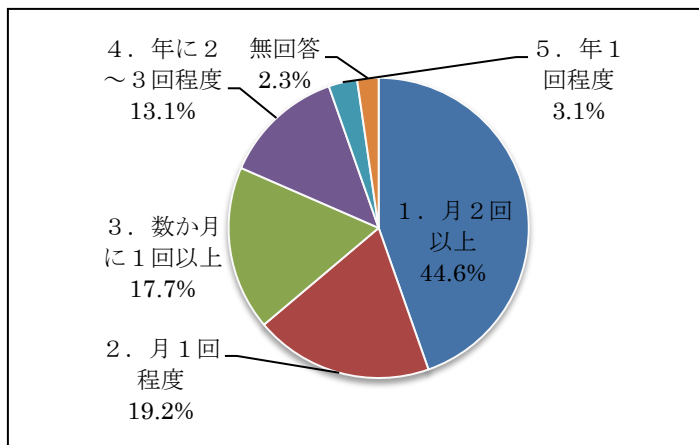
「1. 自治会長や自治会役員」(61人)として活動されている方が多いほか、「2. 自治会内の組織(愛護会、青年団、婦人会など)の世話人」(36人)、「7. 役員や世話人ではないが、自治会活動に参加している」(32人)など、様々な形で地域活動に参加されていることがわかりました。

問10. 問9で「8. その他」を選択した人にお伺いします。具体的にどのような活動か教えてください。(自由記入)

- ・ 公民館や社会福祉協議会の主催行事への運営参画や手伝い
- ・ 民生児童委員や主任児童委員として地域の福祉活動に関わっている。
- ・ 高齢者や子どもの見守り、サロン活動
- ・ 太鼓祭り参加や祭り時の婦人活動の手伝い
- ・ 環境、清掃作業
- ・ 森林保全ボランティア活動
- ・ 地震時に被災建物の応急危険度判定ボランティア活動を行う応急危険度判定士に登録していた。
- ・ 青少年育成活動
- ・ 自治会に加入していない人に市政だよりを配布している。

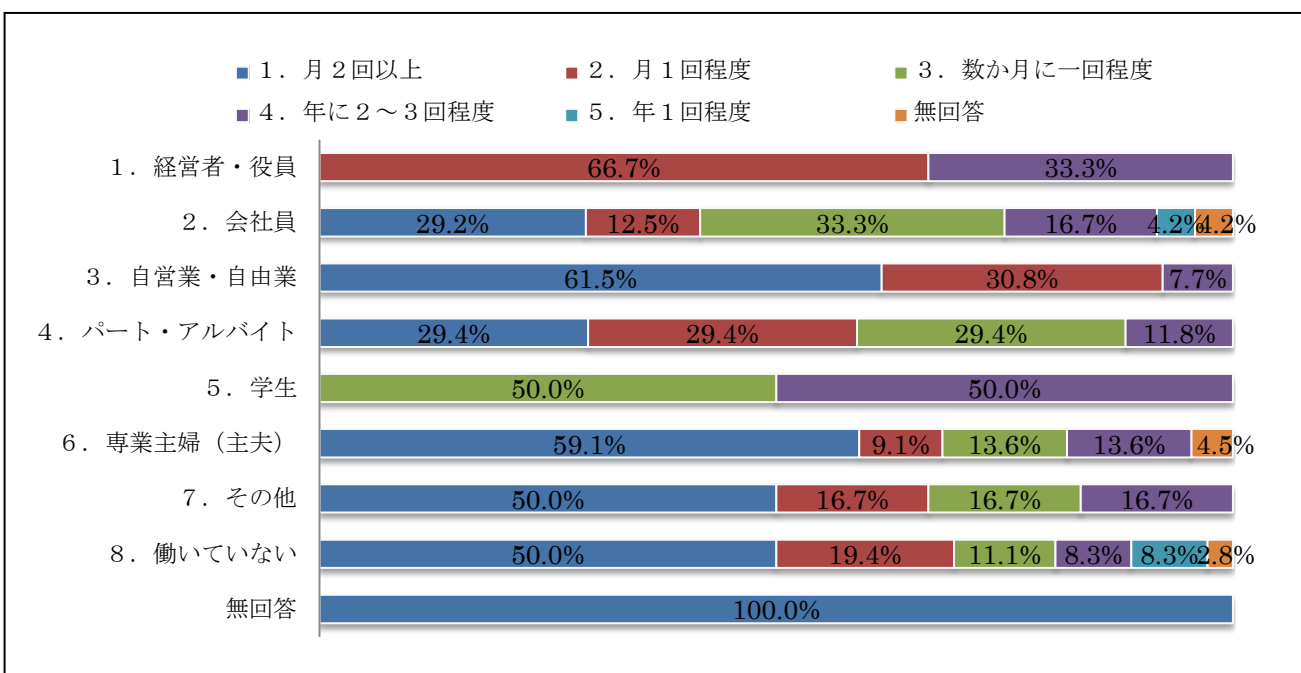
問1 1. 地域活動にはどの程度の頻度で参加していますか。(複数の活動の場合は合計でお考えください。)(1つ選択)

1. 月2回以上	58人
2. 月1回程度	25人
3. 数か月に1回以上	23人
4. 年に2～3回程度	17人
5. 年1回程度	4人
無回答	3人
合計	130人



【クロス集計 (問2 職業別)】

	1. 月2回以上	2. 月1回程度	3. 数か月に1回以上	4. 年に2～3回程度	5. 年1回程度	無回答	合計
経営者・役員	0人	2人	0人	1人	0人	0人	3人
会社員	7人	3人	8人	4人	1人	1人	24人
自営業・自由業	8人	4人	0人	1人	0人	0人	13人
パート・アルバイト	5人	5人	5人	2人	0人	0人	17人
学生	0人	0人	1人	1人	0人	0人	2人
専業主婦(主夫)	13人	2人	3人	3人	0人	1人	22人
その他	6人	2人	2人	2人	0人	0人	12人
働いていない	18人	7人	4人	3人	3人	1人	36人
無回答	1人	0人	0人	0人	0人	0人	1人
合計	58人	25人	23人	17人	4人	3人	130人

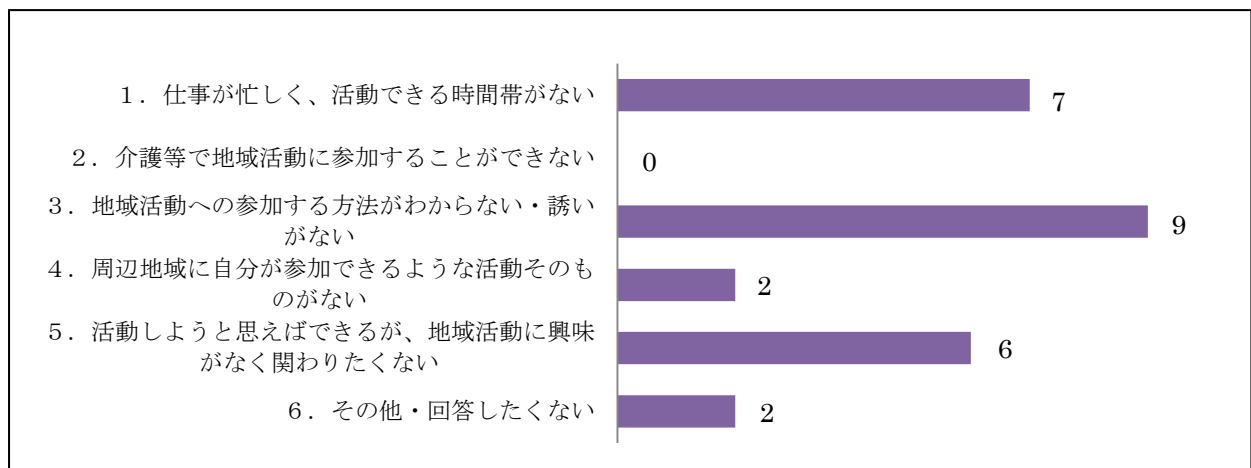


全体では、「1. 月2回以上」活動されている方が最も多く（44.6%）、次いで「2. 月1回程度」（19.2%）、「3. 数か月に1回以上」（17.7%）となっています。

問2でお伺いした職業別に見てみると、「3. 自営業・自由業」、「6. 専業主婦（主夫）」、「8. 働いていない」方の活動頻度が高い傾向が見られました。

**問12. 自治会その他の地域活動に参加していない人にお伺いします。参加しない(参加できない)理由は何ですか。(複数選択)**

1. 仕事が忙しく、活動ができる時間帯がない	7人
2. 介護等で、地域活動に参加することができない	0人
3. 地域活動へ参加する方法がわからない・誘いがない	9人
4. 周辺地域に自分が参加できるような活動そのものがない	2人
5. 活動しようと思えばできるが、地域活動に興味がなく関わりたくない	6人
6. その他・回答したくない	2人
合計	26人



「2. 地域活動への参加する方法がわからない・誘いがない」と答えている方が最も多く（9人）、次いで「1. 仕事が忙しく、活動できる時間帯がない」（7人）、「5. 活動しようと思えばできるが、地域活動に興味がなく関わりたくない」（6人）となっています。

**問13. その他自治会活動や地域活動に関して、ご意見がありましたらお願いします。(自由記入)**

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。本報告ではご意見の一部を紹介します。

- ・自治会加入者が減少している状況の中、市として積極的な加入促進活動をしていないように感じる。もっと強烈に加入促進キャンペーンを実施するべき。
- ・災害などの非常時にどれほど差がでるか等、自治会への加入と非加入の違いをわかりやすく広報すべきだと思う。
- ・若い世代が加入しない気持ちは良くわかります。共働きが主流となりカレンダー通りに休める仕事ばかりではなく、自治会活動が煩わしいと感じるのは仕方ない事だと思います。市では、自治会加入を推し進めていますが、自治会によって活動内容も自治会費も違います。良く分かる活動内容と、入るメリットをもっと具体的に示さないと加入しないと思います。
- ・地域における自治会の存在は必要だと思っていたが、自治会員の地域活動に対する無理解、無関心を感じる事があったので、今は組織としての自治会のありかたに疑問を持っている。
- ・祭事にともなう寄付などは、自治会の決定に基づいて徴収するとはいえ、あくまで個々の会員の意思に任せるようにすべきと思います。協力したくないと自治会を脱会するしかないという選択肢はいかかなものかと思います。
- ・自治会に加入しない人や脱会する人が増えていることが不安です。不利益ばかりで入る意味がない、という声をよく聞きます。損得で物事を考えている人は、なかなか入ってくれない。毎年どこかで起きている災害のことを考え、住民同士の繋がりの大切さを訴える。防犯対策や独居老人の見守りなどで、自分の住んでいる町は安心安全という意識を持ってもらう。
- ・自治会未加入者への対応をどうするのか？高齢者の方に配慮した役員体制を行いたいが、脱会者が増加している。このまま未加入を認めるのであれば、市職員の増加や請負化により、すべての自治会活動を市の制度として行うべきである。
- ・地域差が激しいのは不平不満が起こると思うので、ある程度一律にしてほしい。そして個々の状況に合わせて、できる範囲で協力するのがいいと思う。ボランティアという感じなので、やりたい人が率先してやるのはいいと思う。
- ・会費が高い。特に新居浜は太鼓祭りがあるので、お年寄りが多い地区でもみんな仕方なく払っている。
- ・人口の問題で活動ができなくなった自治会や、その中の部会の統廃合などの基盤整備を進めないと、無力化する団体が増えるのではないかと心配です。
- ・自治会に加入している人のアンケート調査（自治会の区単位）で意見を集約し問題を解決するべき。
- ・役職を減らし、様々な世代で住民ニーズに応えられる自治会活動を目指したい。
- ・地域における自治会活動についてのPR不足のような感が否めないように思います。
- ・清掃活動に参加しなければ罰金があるところがあると聞きます。自治会に加入すれば不参加で罰金、加入していなければ不参加でも何も取られないので、自治会への加入を阻害する要因になっていると考えられます。太鼓台関連のお手伝いも、興味のない人にとっては負担に感じる部分が多いです。若い人が自治会に入るメリットがあまりないように思います。
- ・自治会に入ると、太鼓の維持などにかかる費用や労力が大変そうで、移住者には敷居が高い。ただ、子どもは太鼓祭りに興味があるので、関わりたいのも事実。
- ・自治会役員になった時のごみ当番を負担に感じています。真面目に取り組もうとすればするほど心理的負担が大きくなります。
- ・いつも決まった人たちの集まりにならないよう、全ての人が地域を大切に思えるように、活動内容を考えて地域の特質を生かしたものにしてほしい。
- ・自治会は市民全員が入るべき。
- ・役員をはじめ地域全体が高齢化して活動力が低くなっているなので、若い人たちがもっと参加するよう

になってほしい。

- ・高齢者が中心の現在の自治会活動ですが、高齢化社会においてはそれが当然ではないかと考えます。
- ・自治会の役員を受けるのは責任も伴うものだが、勇気をもって一歩踏み込んでみると必ず何か得られるものがある。何事も経験だと思うので若い方々にも心を開いて参加してほしい。
- ・市としては自治会への働きかけと並行して、一定規模以上のマンションやアパートは大家（管理者）や管理組合を自治会同様の取扱いとしたり、自治会非加入者をグループ化して広報などに取り組むなども一考ではないだろうか。

#### <まとめ>

はじめに、問3において「自治会に加入している」と答えた方は全体の88.1%でしたが、新居浜市全体の自治会加入率65.8%（平成27年度）と比較して大きな差があります。これは、市政モニターの皆さんには、もともと市政や地域活動に関心の高い人が多いためと推測され、本アンケートの結果を考察する際は、まずそのことを考慮に入れる必要があります。

本アンケートの目的は、暮らしやすい地域づくりの達成のため、地域コミュニティの充実と自治会加入促進に向け、行政として何ができるのかを結果から考察することにあります。

設問のうち、問5の「自治会に加入しない理由」として、「居住周辺地域に自治会がない」「居住のマンション又はアパート全体が自治会に加入していない」といった本人意思以外の要因を除くと、「自治会に加入する意味はない」「活動に賛同できない」といった自治会の存在意義に関する認識不足、「役員を押し付けられるのを避けたい」「寄付を求められるのを避けたい」といった人的・経済的な負担感が要因として挙げられます。また「勧誘がない・加入の方法がわからない」という理由からは、自治会加入に関する広報の仕方に一考の余地があることが認められます。

一方で、問7の結果から、市民の皆さんの自治会への期待は、「周辺環境の保全・整備」、「地域住民との交流・親睦」、「独居老人の見守りなどの地域福祉活動」、「防災活動」などに寄せられていることがわかりますが、「期待がある」ということは、そこに解決すべき地域課題が隠れている可能性があります。

また、問12の「地域活動に参画していない理由」において、「方法がわからない・誘いが少ない」が多く挙げられていますが、これも問5と同様、広報の媒体や方法を考えることで改善できる可能性があります。「仕事が忙しく、活動できる時間帯がない」には共働き世帯の増加などの社会的背景も影響しています。「地域活動に興味がなく関わりたくない」からは、問5同様、地域活動への無関心が伺えました。

暮らしやすい地域づくりには、問5と問12からみえる現状と課題、そして問7の裏にある地域課題を把握することが必要です。今後は地域と協働して課題を把握するとともに、行政と地域のあいだの役割分担を明確にして課題解決に取り組んでいきたいと考えています。

最後に、問13の自由意見を通してアンケート全体からわかることは、価値観の多様化です。かつて日本は「お互い様」で支え合っていた共助の社会でしたが、今は「メリットとデメリット」で考える個と個の社会へと変化しています。そのような中であっても、人と人のつながりを大切にし、顔の見える関係を地域で築いていくとともに、透明性の高い自治会活動の情報発信と、様々な価値観を持つ誰をも排除しない地域づくりが、行政と地域、そして住民の共通の課題であると言えます。

（担当課：地域コミュニティ課）